J

DISC TITLE PRINTER for CW-100 Ver4.1

タイトルバー印刷ソフト for CW-100

Windows®対応

取扱説明書

本製品を使用したディスク※への印刷は、ディスクにデータを記録する前に行われることをお勧めします。
すでにデータが記録されているディスクに印刷した場合、データ破損の保証は致しません。
また、当社はいかなる理由においてもディスクの記録データの保護ならびに破損についての責任は一切負えませんので、あらかじめご了承ください。
※CD-R、CD-RW、DVD-Rなどのメディア

ご使用の前にDISC TITLE PRINTER本体の取扱説明書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も大切に保管してください。

CASIO®

RJA510477-002V02

ご　注　意

本書の著作権およびソフトウェアに関する権利は全てカシオ計算機株式会社に帰属します。

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い致します。

あらかじめご承知いただきたいこと

■本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点やお気付きの点などがありましたらカシオテクノ・サービスステーションまでご連絡ください。
■本ソフト使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
■本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
■本書の内容は改良のため、将来予告なく変更することがあります。
■この取扱説明書は、紙メディアである性質上、この中に説明されているソフトが完成するかなり前に印刷されます。このため、取扱説明書の印刷終了後に行われたソフトウェア上の細部の変更、また画面の変更などに、一部対応しない部分が出る可能性があります。ご了承ください。

- 本ソフトは､Windows 98/98SE/Me/2000 Professional/XP上で動作するアプリケーションソフトウェアです。
- 本ソフトは、CW-100対応の印刷専用ソフトです。CW-50/CW-70での印刷はできません。
- 機器の構成によっては正常に動作しない場合があります。
- 動作環境については、DISC TITLE PRINTER本体の取扱説明書をご覧ください。

もくじ

おためし印刷編

らくらく作成編

こだわり作成編

その他編

タイトルラベル編

付録

付属のCD-ROMおよびディスクについて

取扱上の注意事項

- ディスクは両面とも、指紋、汚れ、キズなどを付けないようにお取り扱いください。
- ディスクが汚れたときは、メガネ拭きのような柔らかい乾いた布で、内周から外周に向かって、放射状に軽く拭き取ってください。レコード用クリーナーや溶剤などは使用しないでください。
- ディスクは両面とも、鉛筆、ボールペンなどのペン先の硬い筆記用具で文字や絵を描いたり、シールなどを貼らないでください。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは危険ですから絶対に使用しないでください。

保管上の注意事項

- 高温・多湿・直射日光を避けて保管してください。
- ディスクは使用後、お買い上げのときにディスクが入っていたケースに入れて保管してください。
- レーベル面が直接触れるような軟質系のケースおよび袋等での保管は避けてください

CD-ROMはCD-ROMディスク対応機種以外では絶対に再生しないでください。音量によって、耳に障害を被ったり、スピーカーが破損する恐れがあります。

- DISC TITLE PRINTER for CW-100を使用してレーベルを印刷するCD-R、CD-RW、DVD-Rなどのメディアのことを、この取扱説明書(以下「本書」と呼びます)では「ディスク」と呼びます。
- 本書では「レーベル」とは、「ディスクに印刷する文字や画像の総称」という意味で使用しています。

本書の見かた

本書での説明について

■Windowsの操作説明はしていません

本書は「DISC TITLE PRINTER for CW-100」の取扱説明書です。本ソフトには、「DISC TITLE PRINTER for CW-100」と「タイトルバー印刷ソフト for CW-100」が収録されています。また本ソフトは、Windows® 98/98SE/Me/2000 Professional/XP(以後Windowsと記述します)上で動作するアプリケーションソフトであり、本書では、Windowsそのものの操作については説明しておりません。本書は、本ソフトをご使用になるお客様が、すくなくとも以下のようなWindowsの基本操作に習熟されていることを前提として書かれております。

- クリック、ダブルクリック、右クリック、ドラッグ、ドラッグ・アンド・ドロップなどのマウス操作
- マウスによるメニュー操作
- キーボードによる文字入力
- Windowsに共通のウィンドウ操作

これらWindowsの基本的な操作に関しましては、お手持ちのパソコンまたはWindowsパッケージ付属の取扱説明書をご覧ください。

重要
- 本書では、ソフトウェアを以下のように呼びます。
  「DISC TITLE PRINTER for CW-100」と「タイトルバー印刷ソフト for CW-100」の総称
  →本ソフト
  DISC TITLE PRINTER for CW-100
  →レーベル印刷ソフト
  タイトルバー印刷ソフト for CW-100
  →タイトルバー印刷ソフト

アシスタント機能について(レーベル印刷ソフトのみ)
操作のサポートとして、アシスタント機能がついています。(19ページ)

ヘルプ機能について
操作中に操作方法や注意事項を画面上で確認できるヘルプ機能がついています。(55,65ページ)

■ボタン操作の表記について

本書でのすべての操作は、マウスを使用することを前提としています。
- コマンドの操作方法は、次のような形で表記しています。

●レーベル印刷ソフト

1 をクリックします。

2 表示されたメニューから「新規」をクリックします。

●タイトルバー印刷ソフト

1 [ファイル]をクリックします。

2 表示されたメニューから「新規作成」をクリックします。

- ダイアログボックス中のボタンは次のような形で表記します。(レーベル印刷ソフト/タイトルバー印刷ソフト共通)

[保存]をクリックします。

■キー操作の表記について

本ソフトでは、マウスの操作とキーボードでのキー操作を併用することがあります。使用するキーには"Ctrlキー"、"Shiftキー"、"Altキー"があります。本書ではこれらのキーを[Ctrl]キー、[Shift]キー、[Alt]キーとそれぞれ表記します。これらのキーは、AやBといったアルファベットキーと併用される場合もあります。

■マークの意味

重要 操作を進めていくうえで、欠かすことのできない注意事項や制限事項などが掲載されていることを示します。

- ●本書記載の画面はWindows XPを基に説明しています。その他のOSでは本書記載の画面と異なることがあります。
- ●紙メディアである性質上、本書中で使用している表示画面は、実際の画面と若干異なる場合があります。

本書の構成

本書は目的別に説明が分かれています。やりたいことに合ったページをご覧ください。

準備してください

・ソフトのインストール

・ソフトのインストール、パソコンとDISC TITLE PRINTER本体の接続については、DISC TITLE PRINTER本体の取扱説明書をご覧ください。

まずはためしに作ってみたい

おためし印刷編（10ページ）

★音楽用レーベル形式を例に、レーベル作成から印刷・保存までの流れを一通り体験してみてください。

手軽にレーベルを作りたい

らくらく作成編（17ページ）

★定型フォーマットを使って、簡単にレーベルを作る方法について説明しています。

●音楽用・データ用・デジタルカメラ用からフォーマットを選べます。

もっと自由にレーベルを作りたい

こだわり作成編（40ページ）

★文字やレイアウトの設定を自由に決めて、思い通りのレーベルを作る方法について説明しています。

●文字を自由に入力・設定　→フリーテキスト

●文字や画像を組み合わせて自由にレイアウト　→フリーデザイン

ディスクケースのタイトルラベルを作りたい

タイトルラベル編（57ページ）

★ディスクのタイトルなどを、タイトルバー用プレートに印刷する方法について説明しています。

レーベルができたら印刷しましょう

印刷する（14ページ）

★画面の指示に従って、ディスクをセットするだけ！

★その他の設定内容について説明しています。

※困ったときには

操作中に分からないことが出てきたら、こちらをご覧ください。

ヘルプ機能（55,65ページ）やエラーメッセージ（69ページ）の説明があります。

こんなことができます

DISC TITLE PRINTER本体と接続すればレーベル印刷ソフトで編集したレーベルをディスクに印刷することができます。

●音楽データを記録するディスクには...

自分で入力したアーティスト名や曲名、タイトル名などを印刷できます。（17ページ）

またWindows Media™ PlayerやEasy CD Creatorで取得した曲名情報や、CD-Textからの文字データを読み込むことができるので、入力の手間が省けます。（22ページ）

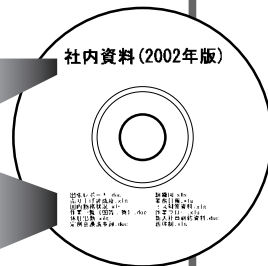
※本書に記載の画面は、Media Player for Windows XPをもとにしています。

ご注意 本ソフトは、ディスクにデータを記録する商品ではありません。

●パソコンのデータを記録するディスクには…

ディスクに記録するフォルダ名やファイル名などを、パソコンから読み込んで印刷できます。また自分で手入力することもできます。（17、26ページ）

社内資料（2002年版）

出張レポート.doc
売り上げ達成度.xls
国内勤務状況.xls
作業一覧（回答：管）.doc
休日出勤.xls
定例会議議事録.doc
組織図.xls
業務日報.xls
ミス対策資料.xls
作業フロー.xls
新入社員研修資料.doc
新体制.xls

●デジタルカメラの撮影データを記録するディスクには…

撮影した日付や内容などを、パソコンから読み込んで印刷できます。また自分で手入力することもできます。
（17、26ページ）

ジローの成長記

02/04/01 − −大洗 はじめての海
02/05/05 − −甲府 里帰り
02/07/15 − −自宅 一周年パーティー

こんなことができます

★ワープロ感覚で文字を編集・修飾できます。

フリーテキスト→40ページ

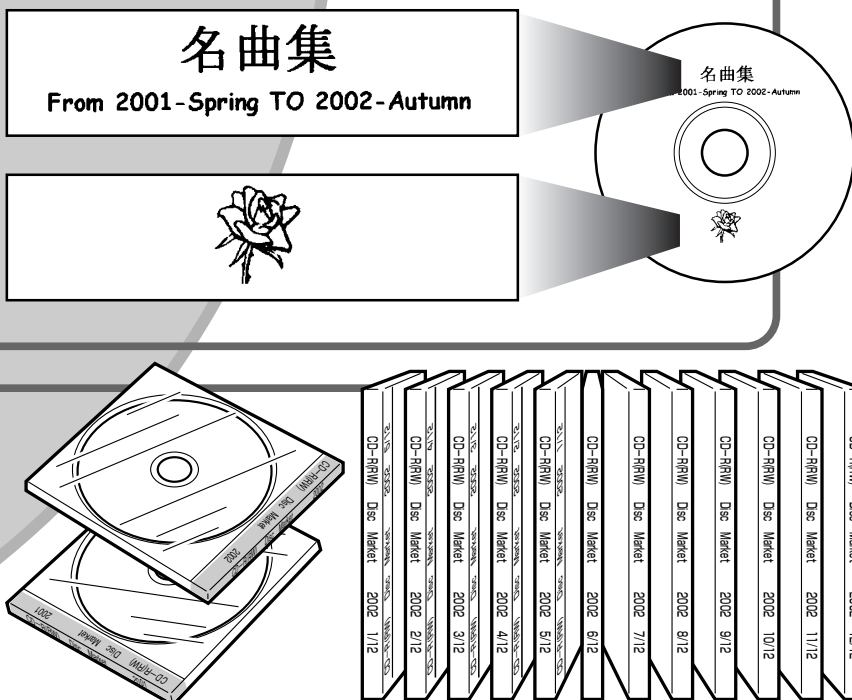
★文字や画像を組み合わせて自由にデザインしたオリジナルレーベルを印刷できます。

フリーデザイン→40ページ

★パソコンに搭載されているフォント（書体）で印刷できます。
（34ページ）

名曲集
From 2001-Spring TO 2002-Autumn

★文字のほかに、画像も印刷することができます。
（36ページ）
※画像はモノクロで印刷されます。

★専用のタイトルバー用プレートに、ディスクケースのタイトルなどを印刷することができます。
（57ページ）

おためし印刷編

まずは作ってみましょう

ソフトのインストール、DISC TITLE PRINTER本体とパソコンとの接続、インクリボンカセットの取り付けができたら*、ためしにレーベルを作ってみましょう。
ここでは、レーベルの作成から印刷・保存までの流れを一通り体験してみてください。
* DISC TITLE PRINTER本体の取扱説明書をご覧ください。

例：音楽用レーベルを作る

レーベルを作成する

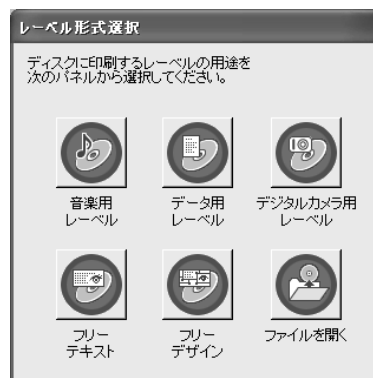
1 デスクトップ上の「DISC TITLE PRINTER for CW-100」アイコンをダブルクリックします。

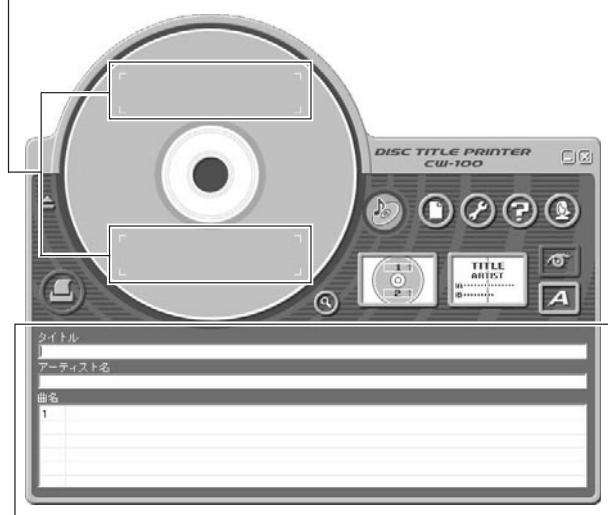
DISC TITLE PRINTER for CW-100

•Windowsの[スタート]ボタンから「すべてのプログラム(P)」→「CASIO」→「DISC TITLE PRINTER for CW-100」→「DISC TITLE PRINTER for CW-100」とクリックして起動することもできます。（インストール時の設定によっては上記の操作と異なることがあります。）

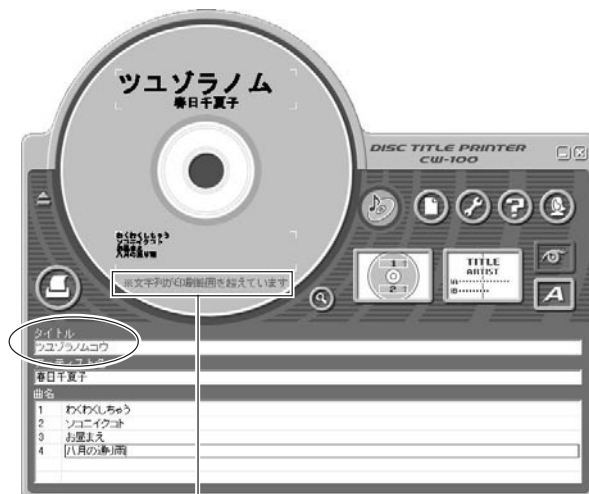
レーベル印刷ソフトが起動して、DISC TITLE PRINTER本体の設置方法を確認するダイアログが表示されます。

2 「CW-100を縦置きに使います。」または「CW-100を横置きに使います。」のどちらかのオプションボタンを選択して、[OK]をクリックします。

「レーベル形式選択」ダイアログが表示されます。
起動時に設置方向を確認するダイアログを表示するかどうかは、詳細設定で行います。53ページをご覧ください。

3 をクリックします。

音楽用レーベルのメイン画面が表示されます。

• レーベル形式を選択するまで、メイン画面での操作はできません。

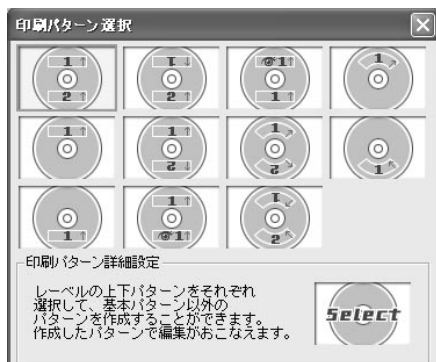
4 文字データを入力します。

『レーベル入力ボックス』にカーソルを移動し、タイトル・アーティスト名・曲名をそれぞれ入力してください。
入力した結果が『レーベルプレビュー』画面に表示されます。

• 入力した文字データが印刷エリアに入りきらない場合、「※文字列が印刷範囲を超えています」という警告メッセージが表示され、その部分が赤字で表示されます。
「書式レイアウトを設定する」(33ページ)や「フォントの種類、形、大きさを設定する」(34ページ)をご覧になり、印刷エリアに入るように調整してください。

おためし印刷 まずは作ってみましょう

■レイアウトを設定する

5 をクリックします。

選択メニューが表示されます。

• 印刷パターンの設定に関する詳細は、31ページをご覧ください。

6 をクリックします。

7 をクリックします。

選択メニューが表示されます。

• 書式レイアウトの設定に関する詳細は、33ページをご覧ください。

8 をクリックします。

おためし印刷 まずは作ってみましょう

■フォントを選ぶ

9 をクリックします。

「フォント設定」ダイアログが表示されます。

10 「タイトル」タブが選択されていることを確認します。
選択されていないときは、「タイトル」タブをクリックします。

11 「フォントサイズ」で「2」を選びます。

12 「アーティスト名」タブをクリックします。

13 「フォントサイズ」が「2」であることを確認し、[OK]をクリックします。
フォントの設定に関する詳細は、34ページをご覧ください。

レーベルデータが完成しました。

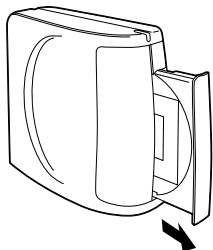
印刷する

付属のディスクに印刷してみましょう。

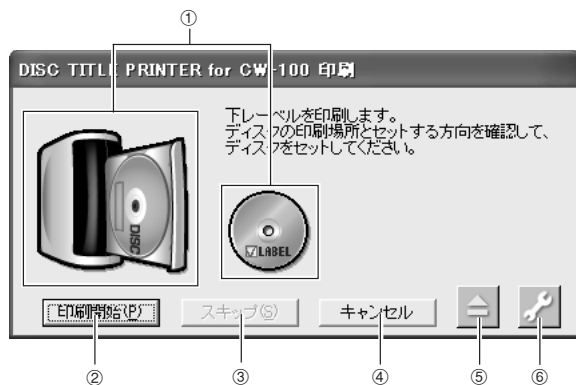
- 市販のディスクに印刷する場合は、付属の「推奨メディア一覧」をご参照ください。
- DISC TITLE PRINTER本体が破損する原因となるため、シングルCD-Rや名刺サイズのCD-Rには印刷できません。
  印刷できるのは、直径12cmのディスクだけです。
- レーベル印刷ソフトを使用したディスクへの印刷は、ディスクにデータを記録する前に行われることをお勧めします。すでにデータが記録されているディスクに印刷した場合、データ破損の補償は致しません。

1 パソコンとDISC TITLE PRINTER本体を接続します。
DISC TITLE PRINTER本体の取扱説明書「電源について／パソコンと接続する」をご覧ください。

2 をクリックします。

ディスクトレイが開きます。

重要 ディスクトレイの前に物を置かないでください。

- 「詳細設定」の「印刷」タブで、「印刷開始時のディスクトレイ自動化設定」が「印刷開始時にディスクトレイを手動で開ける」にチェックが入っているとき(53ページ)は、トレイは自動的には開きません。印刷ダイアログの⏏をクリックするか、本体のイジェクトボタンを押してください。(DISC TITLE PRINTER本体の取扱説明書「各部の名前とはたらき」をご覧ください。)

画面に印刷ダイアログが表示されます。

① ディスクのセットのしかたと印刷する位置が表示されます。

参考 「詳細設定」(53ページ)の「印刷2」タブの「設置方向」の設定により、表示されるプリンターのイラストが縦書き／横書きに変わります。

② 印刷を開始するときにクリックします。

③ 1回目(上レーベル)の印刷を飛ばして、2回目(下レーベル)の印刷を行うときにクリックします。

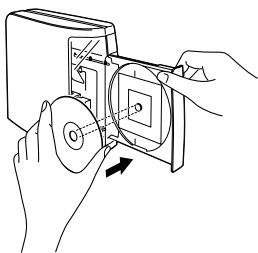
④ 印刷を中止します。

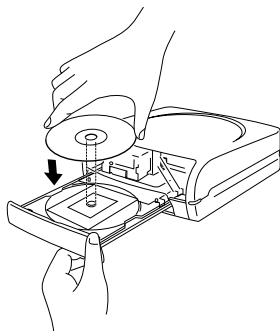
⑤ イジェクトボタン
ディスクトレイが開閉します。

⑥ 詳細設定ボタン
「印刷」・「定型句」・「その他」の設定を行います。詳しくは53ページをご覧ください。

3 ディスクをディスクトレイにセットします。

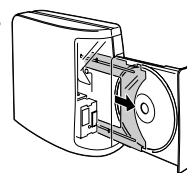
■縦置きの場合のディスクのセット

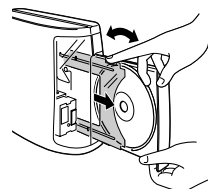
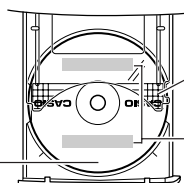
■横置きの場合のディスクのセット

• ディスクの記録面をディスクトレイ側にした状態でディスクトレイに乗せ、「カチッ」と音がするまで軽く押し込みます。
押し込むときは、片方の手でディスクトレイを支えます。

重要
• ディスクをセットするときは、無理な力を加えないでください。ディスクトレイが破損する恐れがあります。
• ディスクトレイやディスクに異物・ごみ等がついていないことを確認してください。ごみ等がついたままセットすると、記録面に傷がついてデータの書き込みができなくなることがあります。
• 表裏を逆にセットすると、記録面に印刷され、データの書き込みができなくなります。

ロゴ等、ディスク面に印刷済みの文字がある場合

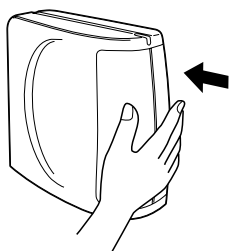
市販のディスクをお使いで、ロゴ等、ディスク面に印刷済みの文字がある場合は、ロゴ等の部分に印刷することはできません。位置合わせ用定規を引き出してロゴ等と印刷位置が平行になるように、位置合わせをしてください。

1 位置合わせ用定規を引き出します。

印刷面が無地のディスクを使用する場合、位置合わせ定規を引き出す必要ありません。

2 ディスクの位置を合わせます。

位置合わせ用定規を出し入れする際に、トレイを押してしまったりイジェクトボタンを押してしまうと、ディスクトレイが閉まってしまいます。片方の手でディスクトレイを押さえて、位置合わせ用定規を出し入れしてください。

• レーベル下部だけを印刷する場合も、レーベル上部を手前側にセットしてください。
詳しくは、付属の「推奨メディア一覧」をご覧ください。

4 ディスクトレイを閉めます。

ディスクトレイを少し押してください。
または本体のイジェクトボタンを押すか、メイン画面の⏏をクリックしてください。

重要
• ディスクトレイを閉める際は、手や指をはさまないようにご注意ください。

5 [印刷開始]をクリックします。

• 印刷が開始されます。
• 印刷終了後、ディスクトレイが自動的に開きます。ディスクを取り出してください。

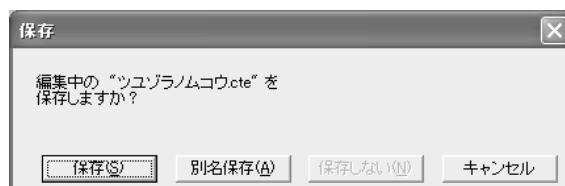
重要
• 印刷中にACアダプター電源コード、USBケーブルを取り外さないでください。故障の原因となります。

これで印刷完了です。

データを保存する

1 をクリックします。

2 表示されたメニューから「保存」をクリックします。

「保存」ダイアログが表示されます。

3 ファイル名を確認し、[保存]をクリックします。

「マイドキュメント」に保存されます。

• データの保存に関する詳細は、29ページをご覧ください。

ソフトを終了する

1 をクリックします。

2 表示されたメニューから「終了」をクリックします。

レーベル印刷ソフトが終了します。

• 各メイン画面右上の☒をクリックしても終了できます。
• 印刷中にレーベル印刷ソフトを終了することはできません。印刷終了後、上記の操作を行ってください。

レーベル形式を選ぶ

ディスクの内容に合わせて、レーベル形式を選択できます。

※ らくらく作成編では、特に注記のない場合は音楽用レーベルの作りかたを例にして説明しています。

1 をクリックします。

2 表示されたメニューから「新規」をクリックします。

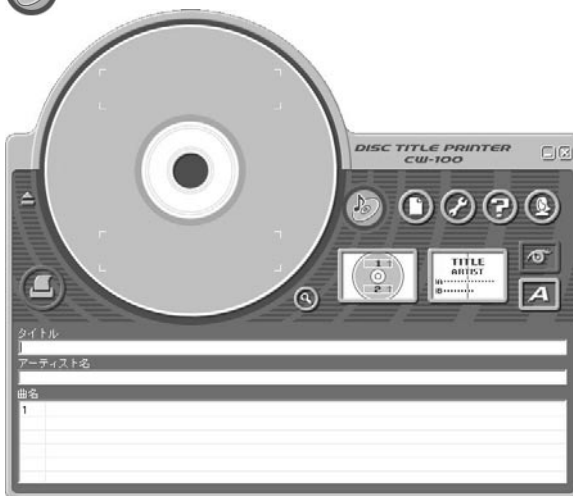
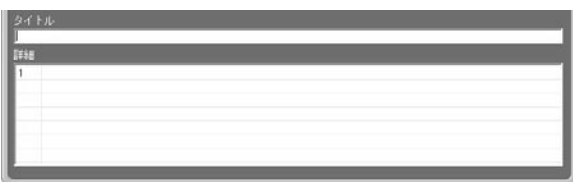
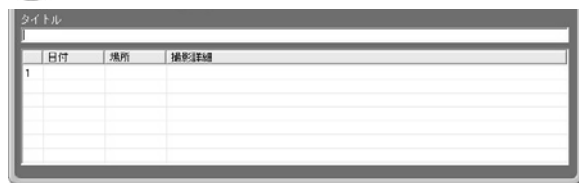
「レーベル形式選択」ダイアログが表示されます。

内蔵のレイアウト（定型フォーマット）から簡単にレーベルを作りたいとき

オリジナルレーベルを作りたいとき
→「こだわり作成編」40ページ

3 作りたいレーベル形式をクリックします。

- 用途に応じて5つの形式から選べます。形式ごとに専用のレーベルを作成するための画面（以下メイン画面といいます）が表示されます。
- 各レーベル入力ボックスにテキストを入力して、レーベルを作成していきます。

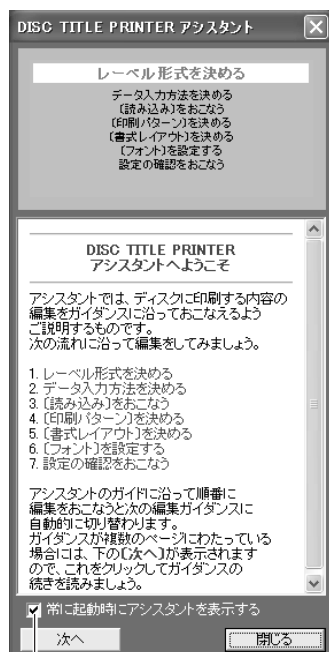
音楽用レーベル

データ用レーベル

デジタルカメラ用レーベル

オリジナルレーベルを作りたいときは

フリーテキスト、フリーデザインを選びます。詳しくは「こだわり作成編」（40ページ）をご覧ください。

アシスタント機能について

レーベル印刷ソフトには操作を助けるアシスタント機能が付いています。

• 音楽用・データ用・デジタルカメラ用レーベル形式でのみ表示されます。フリーテキスト・フリーデザインでは表示されません。

■アシスタント画面

チェックが入っているときは、レーベル印刷ソフトを起動するごとにアシスタント画面が表示されます。

アシスタント画面の用途

● レーベル印刷ソフトの使いかたがよく分からない方には・・・
アシスタント画面のガイダンスにしたがって作業していくと、レーベルを簡単に作ることができます。

● ちょっと慣れた方には・・・
メイン画面での操作に合わせてアシスタント画面が表示されるため、作業に困ったときのサポートとしてご覧になれます。

アシスタント画面を表示する

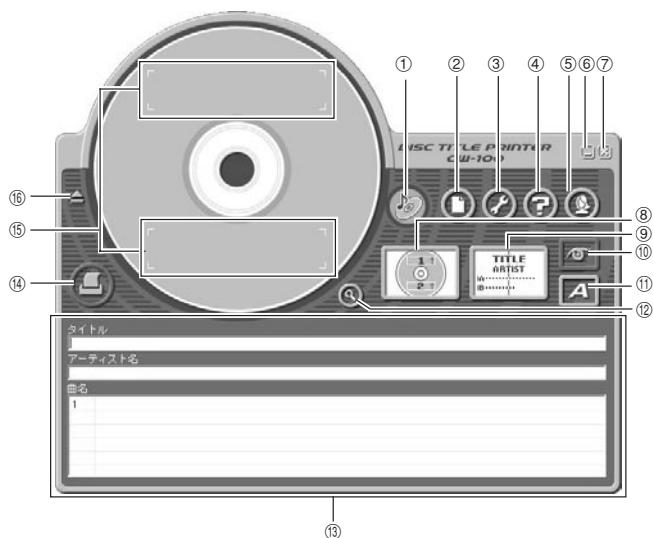
アシスタント画面の「常に起動時にアシスタントを表示する」がチェックされているときは、レーベル印刷ソフトを起動すると自動的にアシスタント画面が表示されます。
チェックされていないときは、メイン画面の［アイコン］をクリックすると、現在行っている操作に対応するアシスタント画面が表示されます。

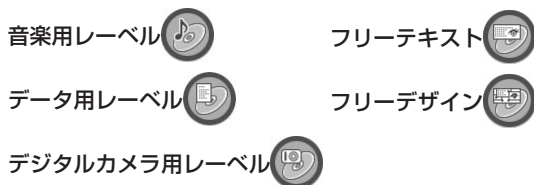
• 画面に[次へ]が表示されているときは、クリックすると画面の続きが表示されます。
• アシスタント画面を終了するときは、[閉じる]をクリックします。

• 各メイン画面右上の［×］をクリックしても終了できます。

メイン画面について

メイン画面に表示されるアイコンや項目と、その機能について説明します。

ここでは、音楽用レーベルのメイン画面を例にして説明します。

① **レーベル形式表示**
「レーベル形式選択」ダイアログ(17ページ)で選択したパネルが点灯表示されます。

音楽用レーベル　フリーテキスト
データ用レーベル　フリーデザイン
デジタルカメラ用レーベル

② 『ファイル』ボタン

『ファイル』ボタンをクリックすると、次の項目が表示されます。

「新規」　：新しくレーベルを作成します。「レーベル形式選択」ダイアログ(17ページ)が表示されます。

「開く」　：作成したレーベルデータを呼び出します。
以前のバージョンのソフトで作成したファイルは、呼び出すことはできません。

「保存」　：作成したレーベルデータを保存します。

「読み込み」：レーベルに入力するテキストデータファイルを指定します。

音楽用レーベルの場合
「タイトルプリンタデータを読み込む」(27ページ)
「CD-Textを読み込む」(22ページ)
「Media Playerの曲名データを読み込む」(23ページ)
「Easy CD Creatorでファイルを読み込む」(25ページ)

データ用・デジタルカメラ用レーベルの場合
「タイトルプリンタデータを読み込む」(27ページ)
「フォルダ名を読み込む」(26ページ)
「ファイル名を読み込む」(26ページ)

フリーテキスト、フリーデザインの場合
上記6つの「読み込み」メニューが選べます。

「データ一覧ファイル作成」：レーベルに印刷しきれない大量の印刷データ情報を、一般のプリンタで印刷するためにファイル名一覧を作成します。(30ページ)

「終了」　：レーベル印刷ソフトを終了します。

「最近使ったファイル」　：過去5件までファイルの名称を表示します。ファイル名をクリックすると、レーベルデータを呼び出すことができます。(表示されるものは保存されたファイルに限ります。)

③『詳細設定』ボタン

印刷の濃度や印刷パターン、書式レイアウトの表示方法を変更できます。(53ページ)

④『ヘルプ』ボタン

『ヘルプ』ボタンをクリックすると、次の項目が表示されます。
「ヘルプ」：ヘルプが表示されます。
「カシオホームページ」：カシオホームページの"EZ-USBシリーズ"のページが表示されます。
「バージョン情報」：レーベル印刷ソフトのバージョン情報が表示されます。

⑤『アシスタント』ボタン

メイン画面とともにアシスタント画面が表示されます。(19ページ)
※音楽用・データ用・デジタルカメラ用レーベルを作成しているときだけ表示されます。

⑥『最小化』ボタン
メイン画面をメニューバーに入れます。

⑦『閉じる』ボタン
レーベル印刷ソフトを終了します。

⑧『印刷パターン』パネル

現在選択されているレーベルの印刷位置や方向のパターンを示します。また変更するときにクリックします。

⑨『書式レイアウト』パネル

現在選択されている文字のレイアウトを示します。また変更するときにクリックします。

⑩『画像』ボタン

印刷する画像を指定するとき(36ページ)にクリックします。

⑪『フォント』ボタン

文字の種類や形、大きさを設定します。

⑫『ルーペ』ボタン

『レーベルプレビュー』画面の文字を、さらに拡大して見ることができます。
- 「プレビュー拡大」ダイアログの[印刷]から印刷することもできます。
- 元に戻すときは、[閉じる]またはをクリックします。

⑬『レーベル入力ボックス』
「読み込み」または手入力で直接テキストを入力するウインドウです。入力された結果はすぐに『レーベルプレビュー』画面に表示されます。選択したレーベル形式によって表示が変わります。

⑭『印刷』ボタン

印刷を開始するときにクリックします。

⑮『レーベルプレビュー』画面
印刷前に仕上がりのバランスを確認する画面です。

⑯『イジェクト』ボタン

ディスクトレイを開閉します。本体のイジェクトボタンと同じ動作をします。
- 印刷中は『イジェクト』ボタンを選択することはできません。

文字データを読み込んでレーベルを作る

音楽用レーベルでは、CD-Textの文字データやMedia Player、Easy CD Creatorで作成した曲名などのデータをレーベル印刷ソフトに読み込むことができます。
またデータ用レーベルとデジタルカメラ用レーベルでは、ファイル名やフォルダ名を読み込むことができます。
さらに以前のバージョンのソフトで作成したデータを、CW-100の形式に変換して読み込むことができます。
文字データを自動的に読み込むことができるので入力の手間がはぶけます。

重要 ご使用のCDドライブがCD-Text読み込みに対応していないと、CD-Textを読み込むことはできません。

CD-Textの文字データを読み込む(音楽用レーベル)

CD-Textの文字データが書き込まれているディスクを準備してください。
- CD-Textについて
  CD-Textは、タイトル、アーティスト名や曲名などの文字情報を追加した音楽CDの機能です。レーベル印刷ソフトでは、CD-Textの文字情報を読み込み、音楽用レーベルを作ることができます。ただし、CDによってはCD-Textの文字情報が入っていないものもあります。

1 音楽用レーベルのメイン画面で、をクリックします。

2 表示されたメニューから「読み込み」→「CD-Textを読み込む」とクリックします。
「CD-Text読込」ダイアログが表示されます。

3 ディスクをパソコンのCDドライブにセットし、「ドライブ指定」でドライブ名を確認した後、[読込開始]をクリックします。
読み込みが完了すると「読み込み選択」ダイアログが表示されます。

- 言語：複数の言語が記録されているディスクを読み込んだ場合に、表示されます(言語1～言語8まで)。
  記録されている言語が1つの場合は、グレー表示になります。

  重要 表示される言語は、日本語、英語、韓国語、中国語です。ただし、お使いのWindowsの環境が、韓国語および中国語に対応していない場合は、正しく表示されないことがあります。

- タイトル：記録されているCD-Textの「タイトル」が表示されます。
- アーティスト名：記録されているCD-Textの「アーティスト名」が表示されます。
- 曲名：記録されているCD-Textの「曲名」とチェックボックスが表示されます。
- 全曲選択：すべての曲名をチェックします。
- 全曲解除：すべての曲名のチェックを外します。

- レーベルに入れない曲名のチェックボックスをクリックして、チェックをはずします。

4 『レーベル入力ボックス』に表示させる曲名を確認後、[OK]をクリックします。

『レーベル入力ボックス』と『レーベルプレビュー』画面にCD-Textの文字データが表示されます。

重要 ディスクの種類によっては、CD-Textの文字データを正確に読みとれないものがあります。

Media Playerを使って書き出したテキストを読み込む(音楽用レーベル)

• Media Playerについて
Media Playerは、コンピュータ上およびインターネット上のマルチメディアを再生および整理するためのソフトウェアです。レーベル印刷ソフトではMedia Playerで作成した曲名リストを読み込みことができます。対応しているバージョンは7.0以上です。

※本書に記載の画面は、Media Player for Windows XPをもとにしています。

• Windows XP以外のOSをお使いの場合は、表示される画面や操作方法が若干異なります。

1 Media Playerを起動します。

2 曲名情報を入手したいディスクをパソコンのCDドライブにセットします。

3 Media Playerで曲名リストを取得(CD情報を表示)し、音楽のコピーをした後、再生リストをファイルに書き出します。

※Media Player 7.0の場合は、音楽のコピーは必要ありません。

• Media Playerの詳しい操作についてはMedia Playerのヘルプなどをご覧ください。

4 レーベル印刷ソフトを起動します。

5 音楽用レーベルのメイン画面で、 をクリックします。

6 表示されたメニューから「読み込み」→「Media Playerの曲名データを読み込む」とクリックします。

「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。

7 手順3で作成した曲名リストを選び、[開く(O)]をクリックします。

読み込みが完了すると「読み込み選択」ダイアログが表示されます。

• Windows XP上で動作しているMedia Playerから作成した再生リストファイルの読み込みを行ったときは、アーティスト名が読み込めない場合があります。

8 『レーベル入力ボックス』に表示させる曲名を確認後、[OK]をクリックします。

読み込みが完了すると『レーベル入力ボックス』と『レーベルプレビュー』画面にデータが表示されます。

Easy CD Creatorを使って書き出したテキストを読み込む（音楽用レーベル）

• Easy CD Creatorについて
Easy CD CreatorはCD-R/CD-RWライティングソフトです。レーベル印刷ソフトではEasy CD Creatorで作成した「Easy CD Creatorの保存形式のプロジェクトリスト（以下、曲名リストと記述します）」を読み込み、音楽用レーベルを作ることができます。対応しているバージョンは4.0と5.0です。
※本書に記載の画面は、Easy CD Creator ver.5.0をもとにしています。

• 開くことのできるファイルは「音楽CD」で作成したプロジェクトリストのみです。
• パソコンのハードディスクからトラックにオーディオファイルを追加して作成したプロジェクトファイルは、読み込むことができません。

1 Easy CD Creatorを起動します。

2 曲名情報を入手したいディスクをパソコンのCDドライブにセットします。

3 Easy CD Creatorで曲名リストを取得し、保存します。

• Easy CD Creatorの詳しい操作についてはEasy CD Creatorの取扱説明書やヘルプなどをご覧ください。

4 レーベル印刷ソフトを起動します。

5 音楽用レーベルのメイン画面で、をクリックします。

6 表示されたメニューから「読み込み」→「Easy CD Creatorファイルを読み込む」とクリックします。
「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。

7 手順3で作成した曲名リストを選び、［開く］をクリックします。
読み込みが完了すると「読み込み選択」ダイアログが表示されます。

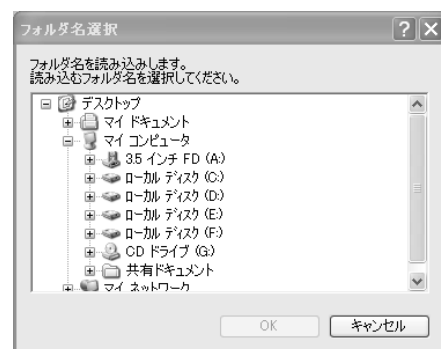
8 『レーベル入力ボックス』に表示させる曲名を確認後、［OK］をクリックします。
読み込みが完了すると『レーベル入力ボックス』と『レーベルプレビュー』画面にデータが表示されます。

ファイル名やフォルダ名を読み込む（データ用レーベル、デジタルカメラ用レーベル）

データ用レーベルやデジタルカメラ用レーベルでは、ファイル名やフォルダ名を読み込むことができます。

■フォルダ名を読み込む

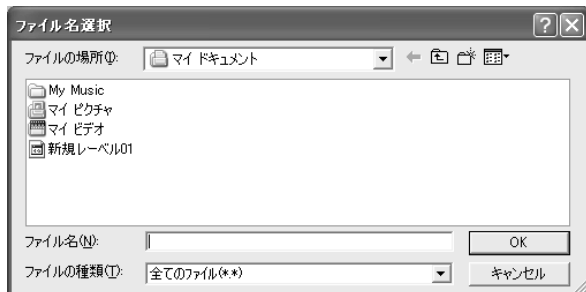
1 データ用レーベルまたはデジタルカメラ用レーベルのメイン画面で、『レーベル入力ボックス』上の読み込みたい位置にカーソルを置き、をクリックします。

2 表示されたメニューから「読み込み」→「フォルダ名を読み込む」とクリックします。
「フォルダ名選択」ダイアログが表示されます。

3 読み込みたいフォルダ名を選び、［OK］をクリックします。
読み込みが成功すると、『レーベル入力ボックス』と『レーベルプレビュー』画面にフォルダ名が表示されます。

■ファイル名を読み込む

1 データ用レーベルまたはデジタルカメラ用レーベルのメイン画面で、『レーベル入力ボックス』上の読み込みたい位置にカーソルを置き、 をクリックします。

2 表示されたメニューから「読み込み」→「ファイル名を読み込む」とクリックします。

「ファイル名選択」ダイアログが表示されます。

3 読み込みたいファイル名を選び、[OK]をクリックします。

読み込みが成功すると、『レーベル入力ボックス』と『レーベルプレビュー』画面にファイル名が表示されます。

- パソコンの[Shift]キーを押しながら2つのファイル名を続けてクリックすると、選択したファイル名に囲まれたものがすべて選択されます。
- パソコンの[Ctrl]キーを押しながらファイル名を複数クリックすると、クリックしたファイル名を複数選択することができます。

※ ただし、「タイトル」では、複数選択しても表示されるのは1ファイルのみです。

以前のバージョンのソフトで作成したデータを読み込む

以前のバージョンのCD-R TITLE PRINTERアプリケーションやDISC TITLE PRINTERアプリケーションで作成したレーベルデータのうち、「.ctp」「.ctw」の拡張子のついたデータをCW-100用に変換します。

1 メイン画面で をクリックします。

2 表示されたメニューから「読み込み」→「タイトルプリンタデータを読み込む」とクリックします。

データを読み込むにあたっての条件を記載した注意書きが表示されます。よくお読みになったあと、次の操作にお進みください。注意書きを表示しないように設定したとき(54ページ)は、ここで「ファイルを開く」ダイアログが表示されますので、3で[次へ]をクリックする必要はありません。

3 [次へ]をクリックします。

「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。

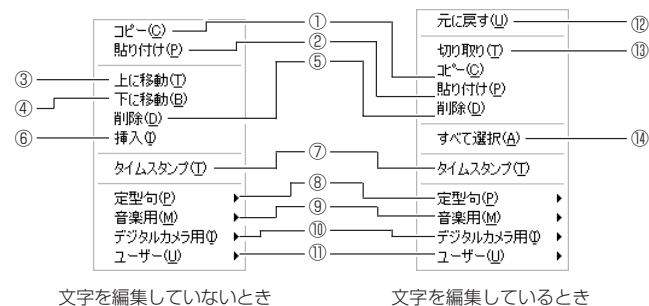
4 読み込みたいデータのファイル名を選び、[開く]をクリックします。

CW-100用に変換されたデータがメイン画面に表示されます。

入力するときに便利な機能

テキストを入力するときに便利な右クリックメニューについて説明します。

1 『レーベル入力ボックス』で右クリックします。

文字を編集していないとき　　文字を編集しているとき

① コピー
選択したデータをコピーします。

② 貼り付け
コピーしたデータを貼り付けます。

③ 上に移動
選択した『レーベル入力ボックス』内の行を、一つ上に移動します。

④ 下に移動
選択した『レーベル入力ボックス』内の行を、一つ下に移動します。

⑤ 削除
選択した『レーベル入力ボックス』内の行または文字列を、削除します。

⑥ 挿入
選択した『レーベル入力ボックス』内の行の上に、新規の行を挿入します。

⑦ タイムスタンプ
日付を『レーベル入力ボックス』に挿入します。
お使いのパソコンで設定されている日付が挿入されます。

⑧ 定型句
レーベル印刷ソフトにあらかじめ登録されている定型句を表示します。挿入したい定型句をクリックしてください。

⑨ 音楽用
レーベル印刷ソフトにあらかじめ登録されている音楽用レーベルの定型句を表示します。挿入したい音楽用定型句をクリックしてください。

⑩ デジタルカメラ用
レーベル印刷ソフトにあらかじめ登録されているデジタルカメラ用レーベルの定型句を表示します。挿入したいデジタルカメラ用定型句をクリックしてください。

⑪ ユーザー
「詳細設定」の「定型句」で定型句を登録しているときは表示されます。挿入したい定型句をクリックしてください。定型句の登録について詳しくは、53ページをご覧ください。

⑫ 元に戻す
1つ前の状態に戻ります。

⑬ 切り取り
選択した文字を切り取ります。

⑭ すべて選択
その行の文字をすべて選択状態にします。

作成したデータを保存する

1 をクリックします。

2 表示されたメニューから「保存」をクリックします。

「保存」ダイアログが表示されます。

- [保存]：タイトル名をファイル名として保存します。*
- [別名保存]：自由にファイル名を付けて保存します。
- [キャンセル]：保存しないでメイン画面に戻ります。

＊ すでにファイルが保存されている場合は、[保存]のかわりに[上書き保存]が表示されます。

- [上書き保存]： すでに保存してあるファイルに上書き保存されます。（元のファイルのデータは消えます。）

3 [別名保存]をクリックします。

「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

4 「保存する場所」を指定し、「ファイル名」を入力します。

5 [保存]をクリックします。

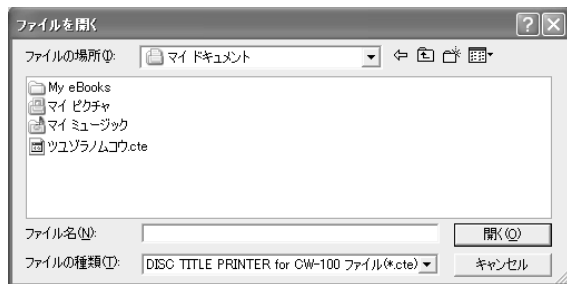
指定した場所へ保存されます。

データを呼び出す

作成したレーベルデータを開きます。レイアウトは変えずに内容だけを差し替えたいときに便利です。以前のバージョンのソフトで作成されたファイルを読み込むときは27ページをご覧ください。

1 をクリックします。

2 表示されたメニューから「開く」をクリックします。

「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。

3 開きたいファイル名を選び、[開く]をクリックします。

『レーベル入力ボックス』と『レーベルプレビュー』画面に選んだレーベルデータが表示されます。

- 「レーベル形式選択」ダイアログ（17ページ）の「ファイルを開く」アイコンからもデータを呼び出すことができます。

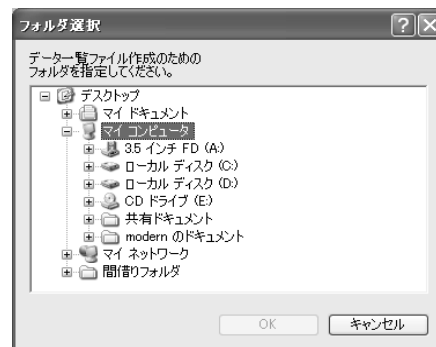
ドラッグ＆ドロップでファイルを開くことができます。
拡張子が「.cte」のファイルアイコンをドラッグしてメイン画面（20ページ）や編集エリア（41ページ）にドロップすると、そのファイルを開くことができます。

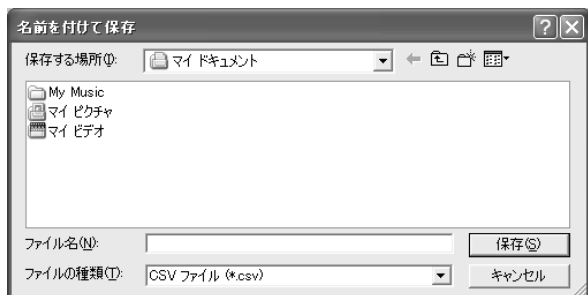
データ一覧ファイルを作成する

レーベルに印刷しきれない大量の印刷データ情報を、一般のプリンターで印刷するためのファイル名一覧を作成・保存します。

1 をクリックします。

2 表示されたメニューから「データ一覧ファイル作成」をクリックします。

「フォルダ選択」ダイアログが表示されます。

3 一覧ファイルを作成するデータの入ったフォルダを選び、[OK]をクリックします。

「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

4 「保存する場所」「ファイルの種類」を指定し、「ファイル名」を入力します。

保存形式はCSV形式、TXT形式が選べます。

5 [保存]をクリックします。

データ一覧ファイルが作成されます。

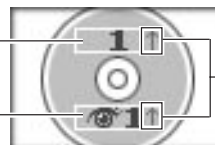
- 作成したファイルは、他のワープロソフトや表計算ソフトなどに読み込んで、印刷することができます。

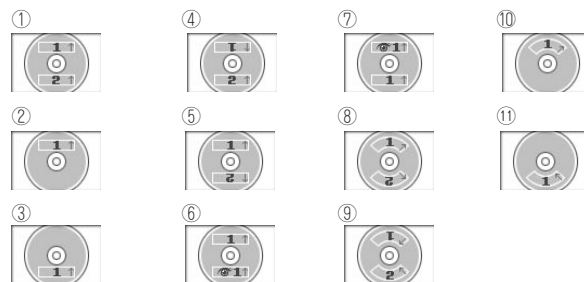
レイアウトを設定する

『印刷パターン』『書式レイアウト』の2つのパネルから簡単にレーベルのレイアウトを設定することができます。
設定したレイアウトの結果は『レーベルプレビュー』画面にすぐに反映されます。

印刷パターンを設定する

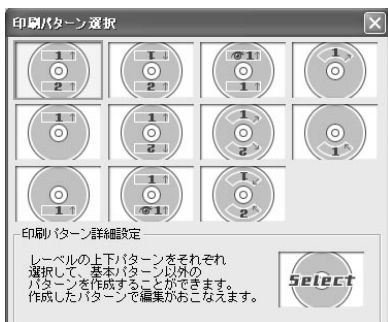
レーベルの印刷位置や方向を選びます。

■『印刷パターン』パネルの表示について

■印刷パターンの種類

ソフトに登録されている定型フォーマットは以下の11種類です。

- 『印刷パターン』パネルで⑧〜⑪を選んだときは、フォントサイズ(1〜3倍の間で選択可能)の指定にかかわらず、1つのレーベル印刷エリアに1行分しか印刷できません。

■印刷パターンを設定する

1 をクリックします。

選択メニューが表示されます。

2 設定したいパターンをクリックします。

クリックしたパターンにあわせて、『印刷パターン』パネルが変更され、『レーベルプレビュー』画面に設定内容が反映されます。

■新たに印刷パターンを設定する

定型フォーマット以外にお好みの印刷パターンを設定できます。

1 をクリックします。

選択メニューが表示されます。

2 Select をクリックします。

「印刷パターン詳細設定」ダイアログが表示されます。

3で選択した結果が反映されます。

3 上・下レーベルそれぞれにお好みの印刷パターンを選択し、[OK]をクリックします。

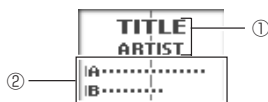
選択したパターンにあわせて、『印刷パターン』パネルが変更され、『レーベルプレビュー』画面に設定内容が反映されます。

上レーベルもしくは下レーベルに画像を指定する場合、「画像設定」ダイアログ(36ページ)で挿入できる画像は以下のようになります。

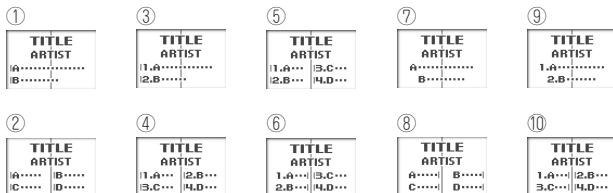
『画像1』
『画像2』
『画像1』『画像2』

書式レイアウトを設定する

印刷時の文字のレイアウトを設定します。

■『書式レイアウト』パネルの表示について

	レーベル形式	項目	表示の意味
①	音楽用レーベル	「タイトル」 「アーティスト名」	レーベルエリアの中央に配置されることを表します。
	データ用レーベル	「タイトル」	
	デジタルカメラ用レーベル		
②	音楽用レーベル	「曲名」	次の意味を表します。 •入力した文字データの配置（左揃え･中央揃え･右揃え） • 1行に配置する項目数（1つまたは2つ） • 連番を付ける/付けない
	データ用レーベル	「詳細」	
	デジタルカメラ用レーベル	「日付」 「場所」 「撮影詳細」	

■書式レイアウトの種類

ソフトに登録されている定型フォーマットは以下の10種類です。

• ③④⑤⑥⑨⑩を選んだときの1行に印刷できる文字数は、他のレイアウトを選んだときよりも少なくなります。

■書式レイアウトを設定する

1 をクリックします。

選択メニューが表示されます。

2 設定したいレイアウトをクリックします。

クリックしたレイアウトにあわせて、『書式レイアウト』パネルが変更され、『レーベルプレビュー』画面に設定内容が反映されます。

■新たに書式レイアウトを設定する

定型フォーマット以外にお好みの書式レイアウトを設定できます。

1 をクリックします。

選択メニューが表示されます。

2 をクリックします。

「書式レイアウト詳細設定」ダイアログが表示されます。

3で選択した結果が反映されます。

3 それぞれの項目のレイアウトを設定し、[OK]をクリックします。

選択したパターンにあわせて、『書式レイアウト』パネルが変更され、『レーベルプレビュー』画面に設定内容が反映されます。

フォントの種類、形、大きさを設定する

ここでは、レーベルテキストのフォントの種類や形、フォントサイズを設定する方法を説明します。

1 をクリックします。

「フォント設定」ダイアログが表示されます。

2 選択タブをクリックして、フォントを設定する項目を選びます。

• レーベル形式によって選択タブの内容は変わります。
音楽用レーベル…「タイトル」、「アーティスト名」、「曲名」
データ用レーベル…「タイトル」、「詳細」
デジタルカメラ用レーベル…「タイトル」、「日付・場所」、「撮影詳細」

■フォントの種類を設定する

3 「フォントの種類」の▼をクリックします。

4 フォントを選びます。

■フォントの形を設定する

5 「フォントスタイル」で「横倍」「斜体」「太字」の中から指定したいものにチェックを入れます。

チェックをすべて外すと「標準」になります。

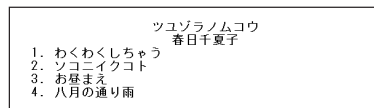
■フォントの大きさを設定する

6 「フォントサイズ」で印刷できる行数とフォントの大きさを選びます。

6行印刷：1つのレーベル印刷エリアに最大6行分まで文字入力ができます。
9行印刷：1つのレーベル印刷エリアに最大9行分まで文字入力ができます。

- 選んだフォントの大きさによって印刷できる行数が変わります。たとえば6行印刷の音楽用レーベルの場合、タイトルを2倍（2行分）、アーティスト名を2倍（2行分）の大きさにそれぞれ指定したときは、曲名は1倍（1行分）のフォントサイズで2行まで印刷できることになります。

↓

ツユゾラノムコウ
春日千夏子
1. わくわくしちゃう
2. ソコニイクコト

- 『印刷パターン』パネルで⑧〜⑪（31ページ）を選んだときは、フォントサイズの指定にかかわらず、1つのレーベル印刷エリアに1行分しか印刷できません。フォントサイズは6行印刷の場合1〜3倍、9行印刷の場合は1〜4倍で選択可能です。
- 9行印刷から6行印刷に変更した場合、7倍、8倍、9倍のフォントサイズは6倍のフォントサイズになります。
- 『印刷パターン』パネルで①④⑤（31ページ）を選んだ場合、フォントサイズの指定によっては、『レーベルプレビュー』画面の上部（下部）に表示されていた内容が下部（上部）に移動します。

7 設定が終了したら、[OK]をクリックします。
『レーベルプレビュー』画面に設定した内容が表示されます。

画像を挿入する

画像を挿入する方法は、次の2つがあります。
- ファイルを選択して画像を挿入する
- パソコンの画面を取り込む（キャプチャー）

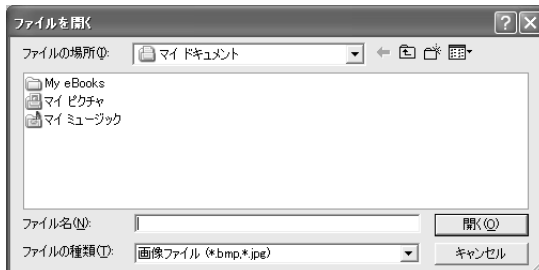
- 『印刷パターン』パネルで⑥または⑦（31ページ）を選ぶか、印刷パターン詳細設定（32ページ）で付きのパターンを選んでください。
- 元の画像がカラーの場合でも、「モノクロ化」の設定に従って1色で印刷されます。詳しくは39ページをご覧ください。
- 実際の印刷イメージはをクリックして確認してください。

ファイルを選択して画像を挿入する

「BMP」「JPEG」ファイル形式の画像が挿入できます。

1 をクリックします。
「画像設定」ダイアログが表示されます。

2 画像1、画像2ともに画像が挿入できるときは、画像を挿入したいタブをクリックします。

3 [画像を開く]をクリックします。

4 挿入する画像のファイル名を指定し、[開く]をクリックします。
「画像設定」ダイアログのプレビュー画面中央に、選んだ画像がカラーで表示されます。

5 画像を確認後、[OK]をクリックします。
『レーベルプレビュー』画面に、画像がモノクロで表示されます。
- 画像のモノクロ化の方法を設定するときは、39ページをご覧ください。

パソコンの画面を取り込む（キャプチャー）

パソコンに表示されている画面を取り込んで、画像データとして利用することができます。

1 をクリックします。
メイン画面が最小化されます。

2 取り込みたい画面を表示します。

3 Windowsのタスクバーの「DISC TITLE PRINTER」をクリックします。

メイン画面が表示されます。

4 [キャプチャーボタン]をクリックします。

「画像設定」ダイアログが表示されます。

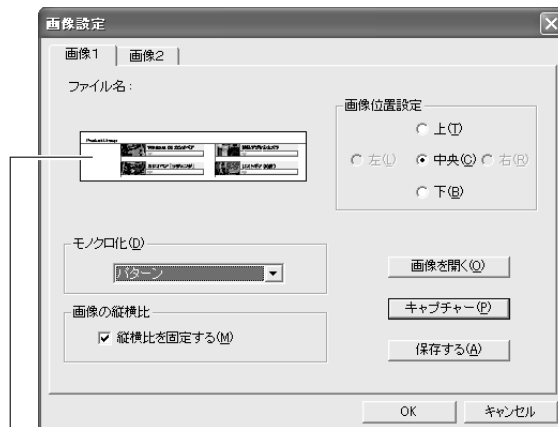
5 [キャプチャー]をクリックします。

メイン画面が最小化されます。

- キャプチャーを取り消すときは、パソコンの[Esc]キーを押す、または右クリックします。

6 取り込みたい範囲の左上から右下までドラッグします。

ドラッグした範囲が四角で囲まれます。

レイアウトサイズに相当する範囲が、ガイドラインとして表示されます。

ドラッグした範囲が、「画像設定」ダイアログのプレビュー画面中央にカラーで表示されます。

7 画像を確認後、[OK]をクリックします。

『レーベルプレビュー』画面に画像がモノクロで表示されます。

- 画像のモノクロ化の方法を設定するときは、39ページをご覧ください。

■キャプチャーした画面をパソコンに保存する

1 キャプチャーした画面を「画像設定」ダイアログのプレビュー画面に表示させた状態で、[保存する]をクリックします。

2 「保存する場所」を指定し、「ファイル名」を入力します。

3 [保存]をクリックします。

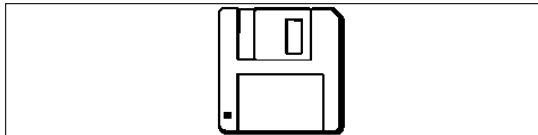
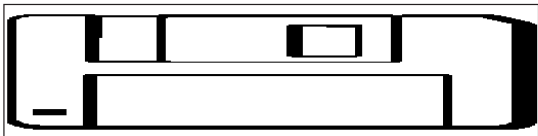
4 [OK]をクリックします。

キャプチャーした画像は、BMP形式で保存されます。

画像の縦横比・位置を設定する

画像の縦横比を固定して印刷するかどうかや、挿入する位置を設定できます。

1 挿入する画像を「画像設定」ダイアログのプレビュー画面に表示させます。

画像の縦横比：
チェックしたとき(縦横比固定)…挿入する画像の縦横比を固定したまま、レーベル印刷エリアに合わせて最大に印刷されるように拡大/縮小されます。

チェックしなかったとき(縦横比非固定)…挿入する画像の縦横比に関係なく、レーベル印刷エリアいっぱいに拡大/縮小されます。

画像位置設定：
レーベル印刷エリアのどの位置に挿入するか設定できます。
※「縦横比を固定する」にチェックしたときのみ設定できます。

2 [OK]をクリックします。
設定した結果が『レーベルプレビュー』画面に表示されます。

• 実際の印刷イメージは、をクリックして確認してください。

カラー画像について

カラーの画像データを挿入するとデータはモノクロ(1色)になり、カラーはモノクロの濃淡で表現されます。

1 挿入する画像を、「画像設定」ダイアログのプレビュー画面に表示させた状態で、「モノクロ化」の▼をクリックします。

2 「パターン」または「誤差拡散」を選び、[OK]をクリックします。
設定した結果が『レーベルプレビュー』画面に表示されます。

「パターン」と「誤差拡散」の違いについて

どちらもカラー写真をコピーしたときのように、濃い色は黒っぽく、薄い色は白っぽく印刷されます。「パターン」に比べ「誤差拡散」のほうが、処理には時間がかかりますが、より美しい印刷結果となります。

パターン

誤差拡散